

HARDOC

県民・事業者・行政が一体となって

トライアングル

第 30 号

兵庫県フロン回収・処理推進協議会
広 報 紙
2003.7 発行
編集発行 推進協議会事務局

平成 15 年度通常総会 開催！

当推進協議会の平成 15 年度通常総会が、去る平成 15 年 6 月 17 日、神戸市教育会館大ホールにおいて、環境省地球環境局環境保全対策課フロン等対策推進室 小泉室長補佐を迎えて開催されました。

ここでは、その概要を報告します。

<平成 15 年度通常総会 概要>

1. 日 時 平成 15 年 6 月 17 日 (火) 13:30 ~ 15:30
2. 場 所 神戸市教育会館 大ホール
3. 出席者

出席者 75 会員 (86 名)

委任者 261 会員

計 336 会員

規約上必要な定足数 257 (総会員数 513 の 1/2 以上)

4. 議 事

(1) 議案

- 第 1 号議案 平成 14 年度事業報告並びに収支決算に関する件
- 第 2 号議案 特別会計の精算及び資産の処分に関する件
- 第 3 号議案 平成 15 年度事業計画に関する件
- 第 4 号議案 平成 15 年度収支予算に関する件
- 第 5 号議案 役員を選任に関する件

[総会の写真]

第6号議案 会員の除名に関する件

(2) 報告事項

報告事項1 会員の入会に関する件

報告事項2 平成15年度フロン回収促進計画に関する件

5. 結果

(1) すべての議案について、出席会員全員の賛成により承認されました。

(2) 報告事項についても、出席会員全員により承認されました。

6. 特別講演

平成15年度通常総会終了後、「フロン対策と私たちの健康」をテーマに、国立環境研究所化学物質環境リスク研究センター健康リスク評価研究室の青木康展室長から特別講演をいただきました。

<平成15年度新役員>

兵庫県フロン回収・処理推進協議会 役員名簿(平成15年6月17日現在)

役職名	氏名	所属団体・役職名
会長	井戸敏三	兵庫県知事
常務理事	山下英世	兵庫県高圧ガス協同組合理事長
常務理事	野村正路	兵庫県県民生活部環境局局长
理事	小倉修悟	生活協同組合コ・プこうべ組合長理事
理事	堀江貴雄	社団法人兵庫県空調衛生工業協会会長
理事	大岡久晃	兵庫県高圧ガス協同組合理事保安委員長
理事	芝富男	社団法人兵庫県産業廃棄物協会会長
理事	藤岡博之	兵庫県自動車リサイクル処理工業会会長
理事	橋本一豊	社団法人兵庫県自動車整備振興会会長
理事	西和之	兵庫県自動車車体整備協同組合副理事長
理事	多田哲一	兵庫県自動車電装品整備商工組合理事長
理事	瀧川泰久	兵庫県自動車販売店協会会長
理事	西田田鶴子	兵庫県消費者団体連絡協議会副会長
理事	松本稔	兵庫県中古自動車販売商工組合理事長
理事	山下賢二	兵庫県中古自動車部品協同組合理事長
理事	進藤隆	兵庫県電機商業組合理事長
理事	山田勉	兵庫県冷凍空調設備工業会会長

理事	宮川 卓雄	兵庫県冷凍設備保安協会会長
理事	矢田 立郎	神戸市長
理事	石見 利勝	姫路市長
理事	白井 文	尼崎市長
監事	山田 知	西宮市長
監事	山口 聖治	佐用郡広域行政事務組合管理者

平成14年度フロン処理依頼量 約 13 t

平成14年度の回収フロン処理システム事業は、会員の皆様にご利用いただき、処理依頼量は約12.6 tとなりました。

平成14年度回収フロン処理依頼状況（単位：kg）

	フロン12	フロン22	フロン502	フロン134 a	計
4月	404.6	899.2	0.0	150.3	1,454.1
5月	374.3	753.5	0.0	111.3	1,239.1
6月	524.6	714.2	0.0	260.7	1,499.5
7月	598.2	811.8	0.0	295.0	1,705.0
8月	320.3	1,095.6	0.0	209.3	1,625.2
9月	342.9	1,095.7	0.0	246.1	1,586.1
10月	537.1	754.2	0.0	294.8	1,586.1
11月	130.2	611.5	0.0	51.1	792.8
12月	80.1	853.2	0.0	98.9	1,032.2
計	3,312.2	7,588.9	0.0	1,717.5	12,618.6

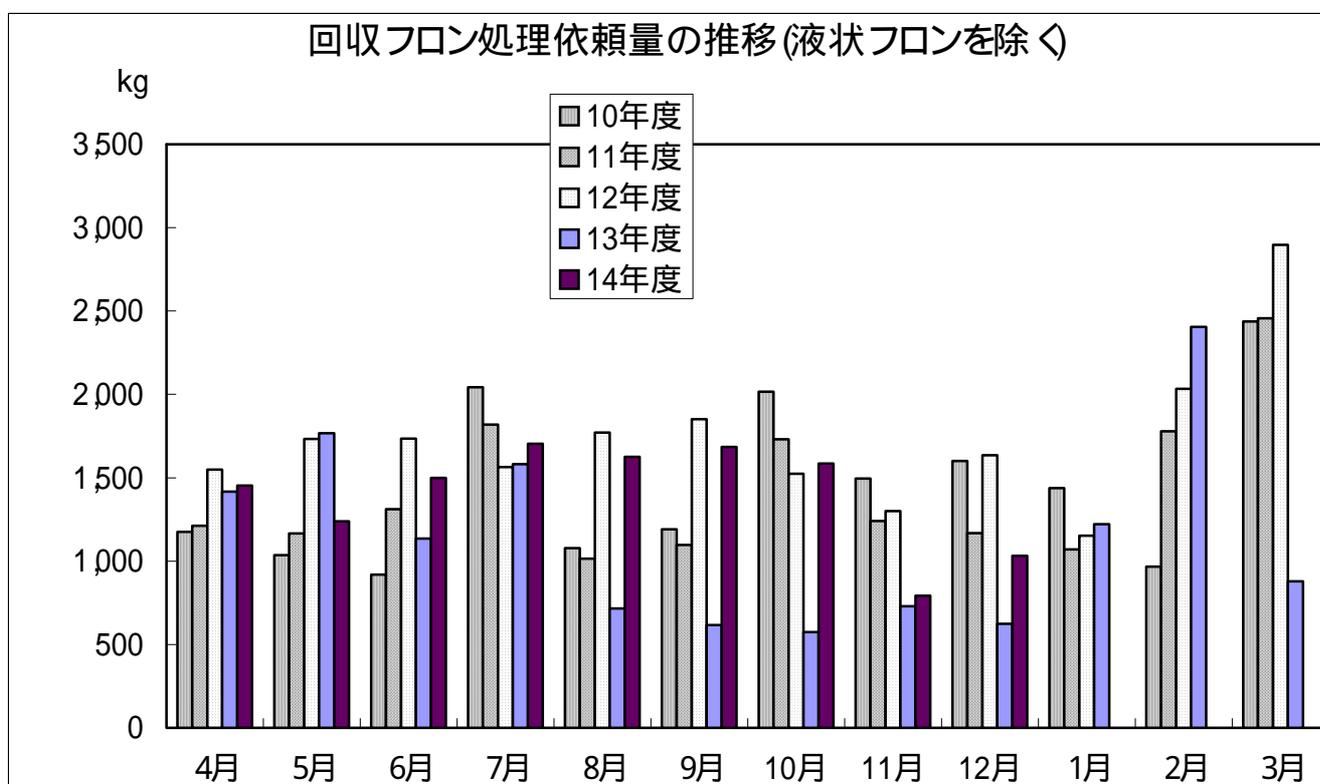
平成14年度の実績は、平成13年度の実績約13.6 tに比べ、約1.0 t減少しました。平成14年度の特徴は、フロン12の依頼量は昨年度とほぼ同じで、フロン22及び502は減少したものの、フロン134 aが増加していることがわかります。

依頼量減少の原因としては、昨年12月末をもって回収フロン処理システム事業を終了したためと思われます。また、フロン502は家電リサイクル法施行の影響により、依頼量が0になったものと推測されます。

今後も、更にオゾン層保護及び地球温暖化の防止を推進していくため、皆様方には引き続きフロン回収処理への御理解と御協力をお願いします。

以下には、参考までに「平成10年度から平成14年度の回収フロン処理依頼量の推移」をグラフ化したものを掲載いたしました。

各月の回収フロン処理依頼量の推移



平成10年度は、液状フロン（CFC11）の処理量を除いたものです。

平成13年度フロン回収状況実態調査結果

平成14年度も、兵庫県から委託を受け、平成13年度のフロン回収状況について調査を実施しましたので、その概要について紹介します。

1. フロン回収破壊法及び県条例（環境の保全と創造に関する条例）の認知度

（1）法律の認知度

（ ）内は回答率

業 界	認知度（回答率）
カーエアコン関係	91%（62%）
業務用低温機器関係	96%（46%）
自動販売機関係	62%（32%）

業界によって、フロン回収破壊法の認知度に多少の差があるが、概ね8割の事業者は法律を「よく知っている」ようである。

（2）県条例の認知度

（ ）内は回答率

業 界	認知度（回答率）
カーエアコン関係	76%（62%）
業務用低温機器関係	89%（46%）
自動販売機関係	57%（32%）

業界によって、条例の認知度に多少の差があるが、概ね7割の事業者は県条例を「よく知っている」ようである。

2. フロン回収状況

（1）フロン回収の実施率

（ ）内は今後自社回収予定のものの割合

業 界	回収実施率
自動車ディーラー	95%（0%）
カーエアコン関係	73%（13%）
業務用低温機器関係	76%（9%）
自動販売機関係	52%（0%）

フロンを回収している事業者の割合（自社回収及び業者委託）を業界順に見ていくと、最も高いのが自動車ディーラー、最も低いのが自動販売機関係であった。

12年度に最も回収実施率が低かった家電製品関係業界は、家電リサイクル法の施行により、フロン回収の仕組みが整備されている。

カーエアコン関係業界（自動車ディーラーを含む）では、自動車リサイクル促進セ

ンターが独自にフロン破壊処理システムを運用しており、フロン回収実施率が高くなってきている。

業務用低温機器関係業界では、社団法人日本冷凍空調設備工業会（近畿地区では近畿冷凍空調設備工業会）が独自のフロン破壊処理システムを構築する等、業界として取り組みが進んでおり、フロン回収実施率が高くなってきている。

全般的に、いずれの業界でも、フロン回収を他の事業者へ委託した場合、その委託に出した機器の台数、それらから回収したフロンの量については確認していないことが多くなっている。

（２）フロン回収装置保有状況

業 界	回収装置保有率	1 3 4 a 対応占有率
自動車ディーラー	9 7 %	6 1 %
カーエアコン関係	4 7 %	—
業務用低温機器関係	4 9 %	—

回収装置の保有率は、平成 1 2 年度よりも全体的に増えている。

また、カーエアコンや電気冷蔵庫に含まれる代替フロン H F C 1 3 4 a に対応する回収装置については、自動車ディーラーでは、6 1 % が対応している。

（３）フロン回収記録の状況

業 界	回収記録実施率	フロンの回収記録については、自動車ディーラー及び業務用低温機器業界で改善が見られるものの、まだなされていないところが多いのが現状である。
自動車ディーラー	7 2 %	
カーエアコン関係	1 4 %	
業務用低温機器関係	7 1 %	

回収記録については、兵庫県の「環境の保全と創造に関する条例」の中の「特定物質排出防止基準」第 4 項に、次のとおりとされている。

「修理・廃棄事業者が、3 の措置（修理または廃棄するときに、冷媒フロンを回収すること）を講じたときは、排出防止規準の遵守状況を把握することができるための措置を講ずること」

また、フロン回収を委託された場合、フロン回収量等の報告を行うためにも、回収記録をつけておく必要がある。

なお、平成 1 4 年度から施行されているフロン回収破壊法においては、特定製品から廃棄される場合において回収した量等を記録することが義務付けられている。

(4) フロン回収費用徴収状況

()内は廃棄費用と別に徴収する割合

業 界	徴収率	平均徴収費用
自動車ディーラー	61% (56%)	4,300円 / 1台
カーエアコン関係	44% (21%)	2,750円 / 1台
業務用低温機器関係	97% (71%)	11,300円 / 1台

回収費用の徴収率は、業務用低温機器関係が大きく増加しており、また、廃棄費用と別に徴収する場合についても全体的に増加傾向にある。

今後も、さらにユーザーへの普及啓発に力を入れ、フロン回収費用を徴収しやすい環境を作る必要がある。

3. 回収フロンの処理状況

回収後のフロンの処理方法を見てみると、各業界では再利用されている場合が多い。

業 界	破壊	再利用	保管	不明等
自動車ディーラー	58%	42%	0%	0%
カーエアコン関係	17%	66%	16%	1%
業務用低温機器関係	47%	30%	17%	6%

自動車ディーラーで、破壊と再利用の両方を実施しているものについては、それぞれにカウントしている。

今回の調査では、12年度と比較すると、全体的に破壊処理の割合がわずかながら減少している。

また、再利用をしている事業者は回収記録をつけていない場合も多く、再利用を証明する手段がないだけに、確実に回収記録をつける必要がある。

4. 総括

全体的には、自動販売機関係を除くと、前回とほぼ同程度のフロン回収実施率となっており、着実にフロン回収が進んでいると考えられる。

特に、平成11年2月より、近畿冷凍空調工業会のフロン対策協議会がフロン破壊処理システム運用開始したことに伴い、業務用冷凍空調機器関係のフロン回収が進んでいる。

しかし、回収記録をつけていない事業所が多いなど、まだ、不十分な点があり、フロン回収

の際には、まず、回収記録をつけ、確実に回収状況を把握する必要がある。

また、他の事業者にもフロン回収や破壊処理を委託する場合は、契約内容に「回収(または処理)後の報告の義務付け」を明確にする等、確実なフロン回収・処理に努め、回収量を把握しておくべきである。

代替フロンについては、HFC - 22の処理が飛躍的に増加しており、代替フロンの処理の必要性も着実に各関係者に浸透してきているように思われる。

HFC - 134aについては、徐々に回収量等も増えてきているが、CFC - 12等に比べると量的にはかなり少ない。しかし、今後HFC - 134aの使用機器の廃棄等は確実に増加してくると考えられることから、今後も引き続き動向を注視していく必要がある。

事務局だより

このたび兵庫県環境局では、4月1日付けをもって、次のとおり人事異動がありました。

環境局長(常務理事)	野村正路	変更なし
大気課長(事務局長)	長谷川明	変更なし
大気課主幹兼管理係長 (出納員)	—————	(新)大西隆政
大気課課長補佐兼管理 係長(事務局次長)	(旧)梶田吉弘	—————
大気課課長補佐兼地球 環境係長(事務局次長)	(旧)間木寿夫	(新)園田竹雪
大気課地球環境係員	(旧)藤本憲介	(新)櫻間知章
同	(旧)仲川直子	—————
同	渡邊好信	変更なし
臨時職員	—————	(新)山本真規子
日々雇用職員	(旧)柏木文美代	—————

旧メンバーにおきましては、会員の皆様方には大変な御支援をいただき厚く御礼申し上げますとともに、新メンバーについても今後ともよろしく申し上げます。

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1(兵庫県健康生活部環境局大気課内)

TEL(078)362-3284 FAX(078)362-3966

<http://www.bekkoame.ne.jp/ro/fron>